

1. 件 名：泊発電所3号炉の新規制基準適合性審査に関する現地確認について
2. 日 時：令和4年9月9日 8時20分～16時10分
3. 場 所：北海道電力株式会社泊発電所

4. 確認者

原子力規制庁：

(新基準適合性審査チーム)

小野長官官房審議官、忠内安全規制調整官、天野安全管理調査官、江崎企画調査官、片桐主任安全審査官、藤原主任安全審査官、三浦主任安全審査官、宮本主任安全審査官、秋本安全審査官、伊藤安全審査官、大塚安全審査官、小野安全審査官、谷口技術参与、長江技術参与、日南川技術参与、上田審査チーム員

技術基盤グループ 地震・津波研究部門

大橋技術研究調査官、石田技術参与

5. 対応者

北海道電力株式会社：

原田取締役常務執行役員、他38名

6. 要 旨

北海道電力株式会社泊発電所3号炉における新規制基準対応の設備の配備状況やその設置場所等について別添のとおり現地確認を実施した。

7. その他

関連資料：

(1) 泊発電所3号炉 現場確認資料集

以上

泊発電所3号炉の新規制基準適合性審査に関する現地確認における主な確認内容

(共通)

午前
大和門からの入構ルート 構内全体配置、防潮堤形状 可搬型設備の保管場所(51m倉庫車庫) アクセスルート(51m倉庫車庫～31m盤まで) 送電鉄塔 緊急時対策所 可搬型設備の保管場所(31m盤道路) 残置防潮堤、保修事務所 SAアクセスルートトンネル坑口(入口) 新設防潮堤(茶津側接続部) SAアクセスルートトンネル坑口(出口) 茶津入構トンネル坑口(出口) 可搬型モニタリングポストの位置 新設防潮堤(堀株側接続部) 3号取水口、貯留堰 3号放水ピット(津波防護施設設置予定箇所) 3号循環水ポンプ建屋

(プラント)

午前	午後
アクセスルート(3号東側) 31m盤(SA車両の状況) SA設備の接続箇所 ホース敷設状況	中央制御室 CHP CVスプレイライン2重化 格納容器水位計 ダクト開放機構 アニュラス 可搬型水素濃度計測ユニット&接続箇所 可搬ガスサンプル装置 サンプルライン隔離弁操作用ガスボンベ SFP建屋全体 可搬型エリアモニタ 代替CSP アクセスルート(ろ過水タンク周辺～S/B周辺まで) 入構トンネル坑口(入口)

(土建耐震)

午前	午後
3号循環水ポンプ建屋内(全体、天井クレーン設置状況) 3号循環水ポンプ建屋内(スクリーン室Ccb補強状況) アクセスルート(3号東側)	3号SWP放水ピット開口部 アクセスルート(ろ過水タンク周辺～S/B周辺まで) 2号放水ピット 1/2号循環水ポンプ建屋外(SWSラプチャ付近の状況) 1/2号循環水ポンプ建屋内(全体、天井クレーン設置状況) 既設護岸、防波堤、荷揚場護岸 茶津側トンネル上部の岩盤露頭部